令和6年度 当初予算報告

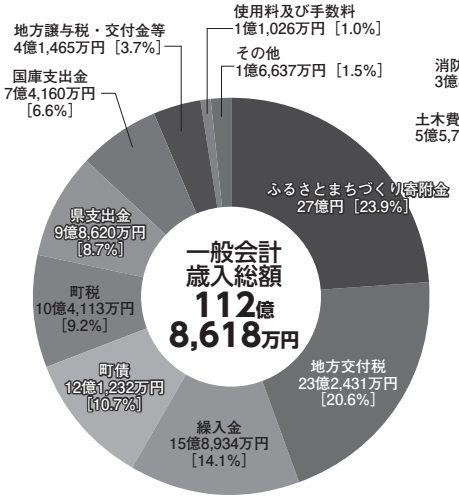
問 総務課財政係（⑯番窓口）
TEL64-1108

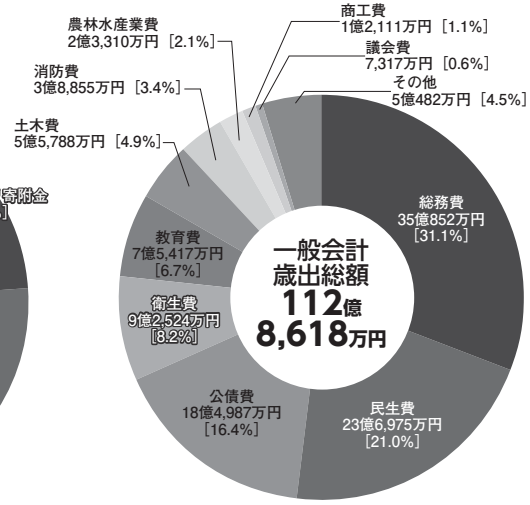
会計名					令和６年度当初予算額	令和５年度当初予算額	対前年度 増減額	対前年度 増減率
一般会計					112億8,618万円	108億2,370万円	4億6,248万円	4.3%
公営事業会計	国民健康保険事業特別会計				15億8,204万円	16億8,272万円	△1億68万円	△6.0%
公営事業会計	介護保険事業特別会計				14億6,733万円	14億5,546万円	1,187万円	0.8%
公営事業会計	後期高齢者医療特別会計				3億9,326万円	3億5,328万円	3,998万円	11.3%
公営事業会計	公営企業会計	駐車場事業特別会計			1,000万円	765万円	235万円	30.7%
公営事業会計	公営企業会計	水道事業会計	収益的	収入	2億9,330万円	2億7,893万円	1,437万円	5.2%
公営事業会計	公営企業会計	水道事業会計	収益的	支出	2億7,593万円	2億6,161万円	1,432万円	5.5%
公営事業会計	公営企業会計	水道事業会計	資本的	収入	2,580万円	5,360万円	△2,780万円	△51.9%
公営事業会計	公営企業会計	水道事業会計	資本的	支出	1億2,957万円	1億1,933万円	1,024万円	8.6%
公営事業会計	公営企業会計	農業集落排水事業会計	収益的	収入	6,261万円	2,247万円	4,014万円	178.6%
公営事業会計	公営企業会計	農業集落排水事業会計	収益的	支出	6,330万円	4,275万円	2,055万円	48.1%
公営事業会計	公営企業会計	農業集落排水事業会計	資本的	収入	8,024万円	2,366万円	5,658万円	239.1%
公営事業会計	公営企業会計	農業集落排水事業会計	資本的	支出	1億734万円	2,366万円	8,368万円	353.7%

令和６年度一般会計の予算額は
112億8,618万円（前年度当初予算より４億6,248万円の増）となりました。

主な要因として、平成26年度に借り入れた庁舎建設に係る地方債の借換えによる公債費の増や令和５年６月２日の豪雨被害に係る災害復旧費の増などが挙げられます。

また、今年度も引き続き、観光や産業の発展、町民の皆様の利便性向上や安全対策につながる施策にも取り組み、安心安全なまちづくりを進めてまいります。





※その他は、分担金、負担金、財産収入、繰越金、諸収入です。
※地方譲与税・交付金等には、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金が含まれます。

※その他は予備費、災害復旧費です。

令和６年度の主な事業

新規事業

町道湯浅177号線無電柱化事業　1,500万円
ＪＲ湯浅駅から島之内区にかけての路線において無電柱化を実施します。令和6年度はまず、測量設計業務から着手します。

斎場建替事業　5,910万円
令和４年度より発注支援業務を委託し、事業の準備を進めていました。令和６年度から本格着手となり、新施設の設計及び敷地内の管理棟、公衆トイレの撤去を行います。

町内橋梁補修工事　2,700万円
令和５年度に実施した測量設計業務の結果を基に、町内にある3橋の補修工事を実施します。

水道料金助成事業　232万円
これまでは一人暮らしの65歳以上で、町民税非課税の方を対象としてきた水道料金助成事業ですが、重度障害者手帳をお持ちの方や介護度が高い在宅の方も新たに制度の対象とします。（基本料金の１／２を助成）

産婦人科診療所運営負担金　1,790万円
令和６年４月より有田市に開院する産婦人科診療所に対し補助を行います。※有田市に対して負担金を支出します。

部活動地域移行事業補助金　703万円
子どもたちが、スポーツや芸術文化に継続して親しむ機会を確保するため、部活動を段階的に地域へ移行させる取り組みを進めます。

栖原地区矢田池下流水路改修事業　750万円
矢田池下流水路については、大雨時に越水し、近隣農地に被害が出ている状況であるため、改修工事に向けた測量設計業務を実施します。

防犯灯ＬＥＤ化事業　3,930万円
町内の防犯灯（蛍光灯・水銀灯）をすべてＬＥＤ化します。これにより電気料金の抑制、脱炭素社会の推進に資することにも繋がります。
※令和7年度からは防犯灯をすべて町有化し、町で電気料金を負担する予定です。

シルバー人材センター補助金　264万円
広川町と共同で運営していくことになったシルバー人材センターに対して補助を行います。

帯状疱疹ワクチン接種助成　382万円
50歳以上から発症率が急増する帯状疱疹について、接種費用を一部助成することで経済的負担軽減、健康の維持促進、合併症や後遺症に係る医療費の抑制を目指します。（50歳以上を対象）

特産品等販売ＰＲ事業　426万円
令和６年７月オープン予定の施設である大阪梅田の「ＫＩＴＴＥ」に湯浅町のアンテナショップを出店します。

オンライン決済の導入　23万円
税の証明書等の遠隔地請求に関し、オンラインで申請から決済まで可能となります。

拡充事業

住民記録システム改修事業※本人通知制度関連　55万円
第三者に住民票を交付した場合、事前登録が無くとも本人に対して通知を行えるようシステムを改修します。これにより、人権侵害や個人情報を悪用した権利侵害の防止に努めます。

地域おこし協力隊　1,439万円
現在２名の地域おこし協力隊が活躍しているところですが、令和６年度より1名増員し、さらなる地域の活性化に努めます。

継続事業

町道湯浅126号線外道路改良工事　1億1,000万円
熊野古道としての景観にも配慮した、張出歩道を整備しています。

結婚新生活支援事業補助金　1,470万円
婚姻に伴う新生活の経済的負担軽減を図り、婚姻数の増加及び少子化対策を推進するため、新生活のための住居費用、引っ越し等に要する費用に対して補助を行っています。
※29歳以下：60万円　　39歳以下：30万円

創業支援事業補助金　500万円
町内において新たに創業等を行った方に対して、補助対象経費の内、上限100万円の補助を行っています。

地域イベント補助金　250万円
地域の活性化に貢献するイベント等の開催費用に対して、上限50万円の補助を行っています。

防災行政無線システム更新事業　6,540万円
令和5年度より実施している事業で、２年目となる令和6年度は主に、屋外スピーカーの更新を行います。

出産・子育て応援交付金事業　623万円
妊娠から出産まで一貫した相談体制による子育て環境を整備するため、伴走型相談支援（保健師との面談等）と経済的支援（妊娠届出時に５万円、出産後に５万円を支給）を一体的に実施しています。

特産品等開発奨励補助金　250万円
町内産品を用いた新しい特産品の開発費用に対して、上限50万円の補助を行っています。

定住促進奨励事業　1,500万円
町内での定住を促進するため、40歳未満の方の新築住宅取得について、1件あたり100万円を支給します。（中古住宅は40万円）

福祉の充実	ふるさと納税の推進	環境衛生の促進	道路等の整備
約２２万円 高齢者や児童福祉等にかかる費用	**約２５万円** ふるさと納税業務にかかる費用	**約８万円** 予防接種、ごみ処理等にかかる費用	**約５万円** 道路橋梁の改良・維持等にかかる費用
行政サービスの充実	**借金の返済**	**教育の充実**	**農林水産業の振興**
約７万円 総務管理、行財政等にかかる費用	**約１７万円** 町の借入金の返済にかかる費用	**約７万円** 小中学校の運営や文化財の保護にかかる費用	**約２万円** 農業、漁業等の振興にかかる費用
商工業の振興	**防災の強化**	**その他**	※令和６年２月29日の人口10,913人で計算しています。
約１万円 商業、観光の振興にかかる費用	**約３万円** 消防設備、災害用備蓄用品等にかかる費用	**約６万円** 議会の運営にかかる費用等	

歳出を町民１人あたりに換算すると・・・
約103万円
の支出になります。
約103万円の内訳は左記のとおりです。